

ケロちゃん通信 第18号

2016年 12月



ながおか医療生協
あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1
 電話番号0258-36-5810
<http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/>

12月の診療予定

		月	火	水	木	金	土
あたごこどもクリニック	8:35 ~ 12:00	吉川	吉川	吉川	吉川	吉川 本 川間 (2・16日)	吉川
	13:45 ~ 15:30	乳児健診 予防接種	乳児健診 予防接種 (第1・3週) 発達外来 (第2・4週)		乳児健診 予防接種	乳児健診 予防接種	
	15:30 ~ 17:30	吉川	吉川		吉川	吉川 本 川間 (2日)	

受付開始：一般診療は午前8時35分、午後15時30分です。

☆一般診療

診療時間内に受診ください。予約は不要です。付き添いのお母さん等が体調不良の時もお気軽にご相談ください。緊急の場合や、特別な相談がある場合は、まずお電話ください。

☆発達外来 (第2・4火 13:30~15:30)

発達心配、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくをおこしやすい、ひきつけがある等の発達や神経に関する心配がある方もお気軽にご相談ください。

☆アレルギー外来(原則 第1・3金 9:00~12:00)

食物アレルギー、喘息、花粉症などでお困りの方は、ご相談ください。☆予防接種、乳児健診、発達外来受診希望の場合には、電話でご予約お願いいたします。

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。



☆もう12月です、今年も終わりですね。発熱するとインフルエンザが心配になってくる季節になりました。外来が混み合う日が増えてきており、体調が悪いのに長い時間お待ちいただき申し訳ないと思っています。なるべく待ち時間を短くできるように努力しておりますのでご理解いただければと思います。年末年始に向け忙しい毎日だと思いますが、体調にはお気を付け下さい。今年も本当にありがとうございました。

☆外来は年末年始のお休みで6連休になります。本来、水曜日午後は休診なのですが、28日午後は一般診療を行います。

☆入り口脇にシンボルツリーを2本植えました。春になって緑が芽吹くのが楽しみです。プランターにチューリップの球根も植え、春の準備もしました。あとは冬を迎える準備です。

☆みなさんの今年の重大ニュースは何でしょう。個人的には、自衛隊の富士総合火力演習に29倍の確率で当選し、見学に行けたことです。これでもう運を使い果たしてしまったか、心配です。みなさんにはあまり関心のないことかもしれませんが、そのほか横須賀にイージス艦を見に行ったり、百里基地の航空ショーを見に行ったり、江田島の海軍兵学校へ行って山本五十六をしのんだりしました。ミリタリーな1年でしたが、今後もこのような兵力が実際に使われることのない、子供たちが幸せに暮らせる世の中であってほしいです。

12月28日(水) 15:00~17:30一般診療を行います
年末年始の休診予定：12月29日(木) - 1月3日(火)
 1月4日からは通常通りの診療になります。

12月3日(土) 午後：インフルエンザワクチン外来(予約のみ)

RSウイルス感染症

☆今年は例年になくRSウイルス感染症が流行しています。
本来は寒い時期の感染症なのですが、暑い夏にも散見されるようになってきています。

<RSウイルスとは>

- RSウイルスは、乳児の細気管支炎の原因となるウイルスです。晩秋から早春にかけて流行し、ほとんどのこどもが2歳までに一度はかかります。繰り返しかかりますが、乳児以降は鼻水程度で終わります。
- 感染している人の咳やくしゃみで飛沫したウイルスを直接吸い込んだり、ウイルスを含む鼻汁や唾液に汚染されたものに触れることでも感染します。潜伏期間は4～6日です。多くは家族内感染で、兄弟からの感染が多いです。

<症状>

- 乳幼児の場合は鼻水から始まり、咳が続き、軽い場合はかぜ症状のみで数日のうちに軽快します。しかし、咳がひどくなり細気管支炎や肺炎をおこしやすいので注意が必要です。また乳幼児では中耳炎の合併もよくみられます。多くは7～15日で回復します。
- 1歳未満、特に6ヶ月未満の乳児の場合は入院が必要になることがあります。呼吸困難に陥り、人工呼吸管理を要する重症例もみられます。

<診断>

- RSウイルスの迅速診断キットがあります。検査することにより10分程度でRSウイルスかどうかを検査できますが、保険適応は1歳未満のみです。



☆<治療>

- 診断はできますが、RSウイルスに効くお薬はありません。治療は対症療法のみで、熱、咳、喘鳴などに対する治療を行います。喘鳴がある場合には喘息に準じた治療を行うこともあります。重症例には酸素吸入や人工呼吸を使用することがあります。
- 水分がとれない、眠れない、呼吸が苦しい等の症状がみられたら、すぐに受診してください。

<予防>

- 赤ちゃんがいる場合には、鼻かぜをひいている人は感染源となりますので、近寄らないようにしましょう。また、手をよく洗ったり、おもちゃやおしゃぶりなどの、赤ちゃんがお口に入れるものは清潔にしておいてください。
- 小さく生まれた赤ちゃんや、心臓病、ダウン症などがあり重症化しやすい場合には、シナジスという薬で軽症化ができます。

